

在宅就労支援プログラム 就労準備 ⑧

2020/05/22(金) a.m.

一般社団法人リエンゲージメント



本日のテーマ

「就労パスポート」(1)



令和元年11月15日（金）

【関係先】

職業安定局
障害者雇用対策課 地域就労支援室
室長 澤口 浩司
室長補佐 根本 友之
(代表電話) 03-5253-1111
(内線) 5837
(直通電話) 03-3502-6780

報道関係者 各位

障害のある方向けの「就労パスポート」を作成しました

～障害のある方の就職や職場定着の促進を図るための情報共有ツールです～

厚生労働省は、このたび、「精神障害者等の就労パスポート作成に関する検討会」での検討を踏まえ、障害のある方に向けた「就労パスポート」を作成しました。

「就労パスポート」は、障害のある方が、働く上での自分の特徴や希望する配慮などを整理することで、就職や職場定着の促進を図るための情報共有ツールです。支援機関や職場における必要な支援などについて話し合う際に活用できます。

このツールを活用することで、障害のある方ご本人の障害に関する理解が深められ、支援機関同士での情報連携なども進めることができます。また、事業者による採用選考時の障害者への理解や職場環境の整備を促し、障害のある方の就職や職場定着の促進につながることが期待できます。

厚生労働省では、今後、就労パスポートの普及を進めるため、支援機関や事業者を対象に周知を行う予定です。

・ [就労パスポートの様式、ガイドライン等はこちら](#)

報道・広報

- 厚生労働省広報基本指針
- 大臣記者会見
- 報道発表資料
- 広報・出版
- 行事・会議の予定
- 国民参加の場

関連リンク

- 情報配信サービスメニュー登録
- 子どものページ

携帯ホームページ

- 携帯版ホームページでは、緊急情報や厚生労働省のご案内などを掲載しています。



障害のある方向けの「就労パスポート」を作成しました

(令和元年11月15日 報道発表資料より)

厚生労働省は、このたび、「精神障害者等の就労パスポート作成に関する検討会」での検討を踏まえ、障害のある方に向けた「就労パスポート」を作成しました。

「就労パスポート」は、障害のある方が、働く上での自分の特徴や希望する配慮などを整理することで、就職や職場定着の促進を図るための情報共有ツールです。支援機関や職場における必要な支援などについて話し合う際に活用できます。

このツールを活用することで、障害のある方ご本人の障害に関する理解が深められ、支援機関同士での情報連携なども進めることができます。また、事業主による採用選考時の障害への理解や職場環境の整備を促し、障害のある方の就職や職場定着の促進につなげることが期待できます。

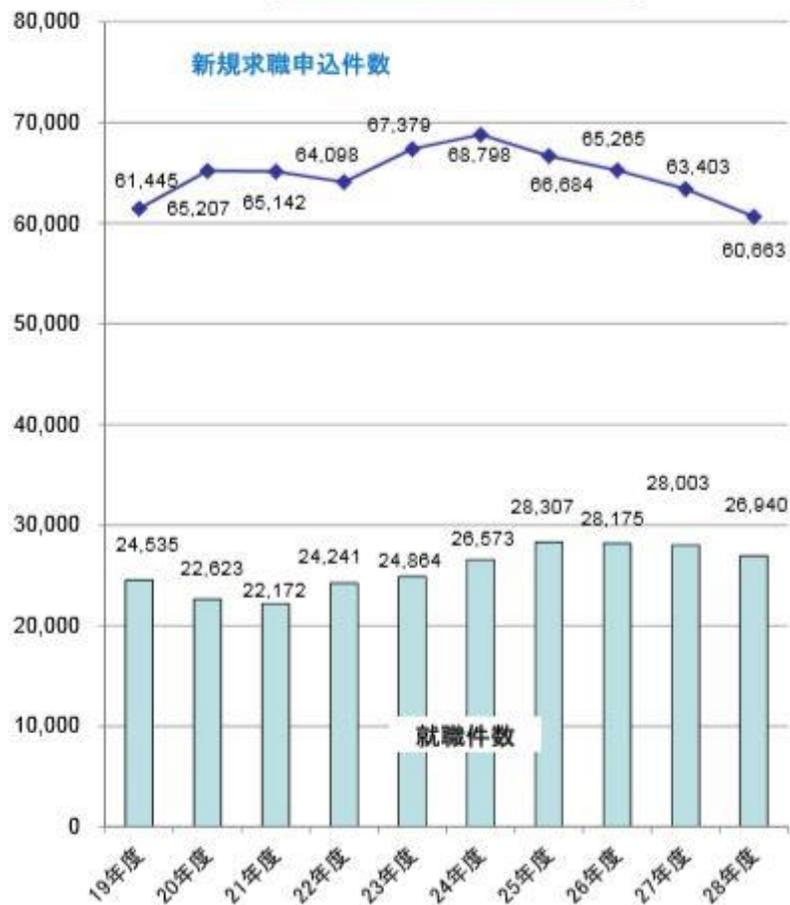


就労パスポートが生まれた背景

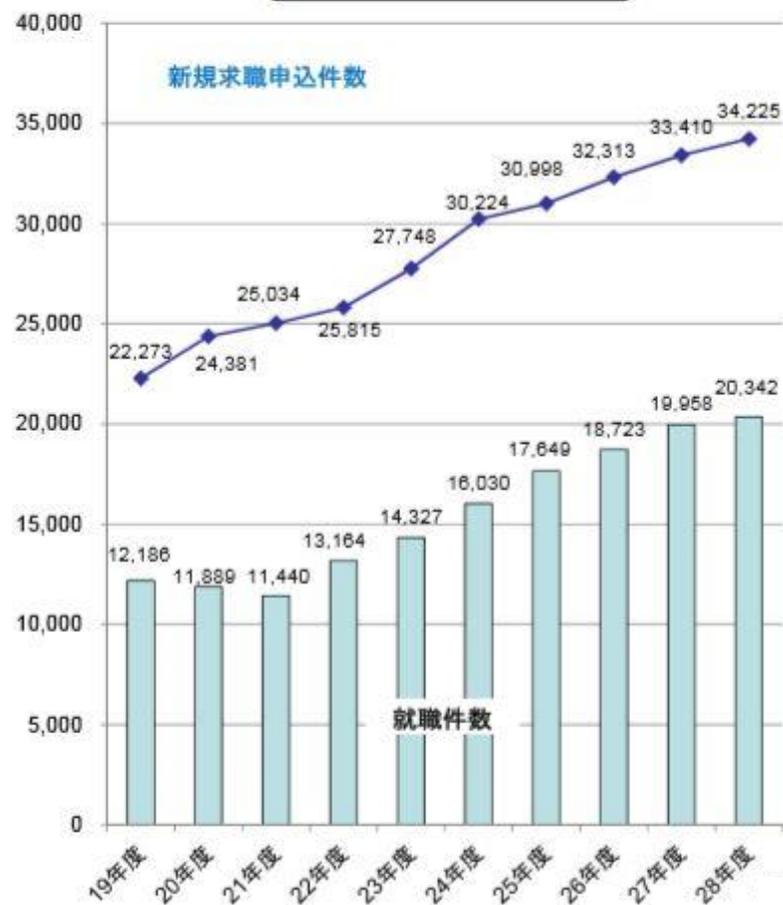


障害者の雇用状況

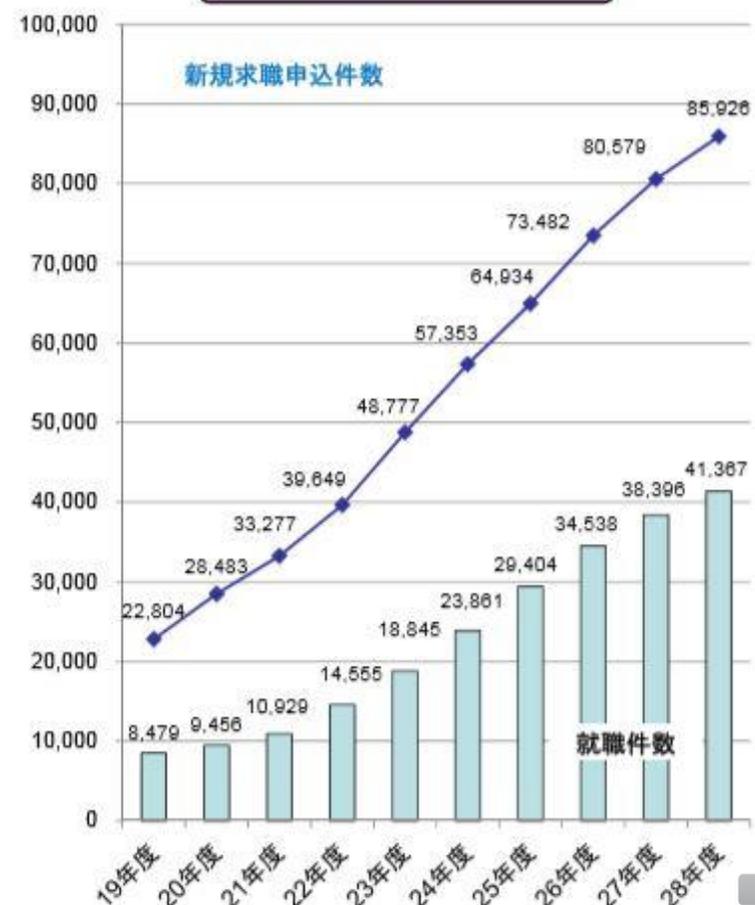
身体障害者



知的障害者

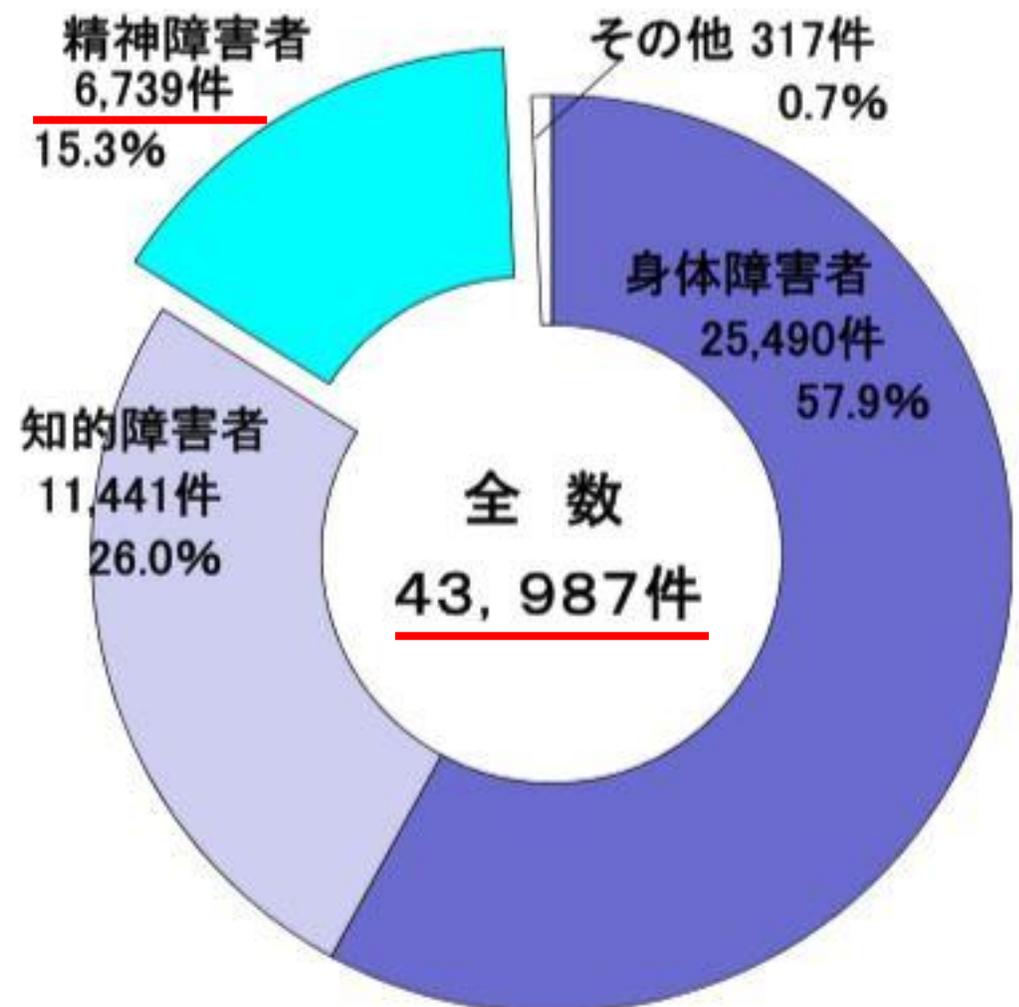


精神障害者

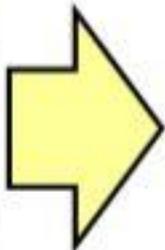
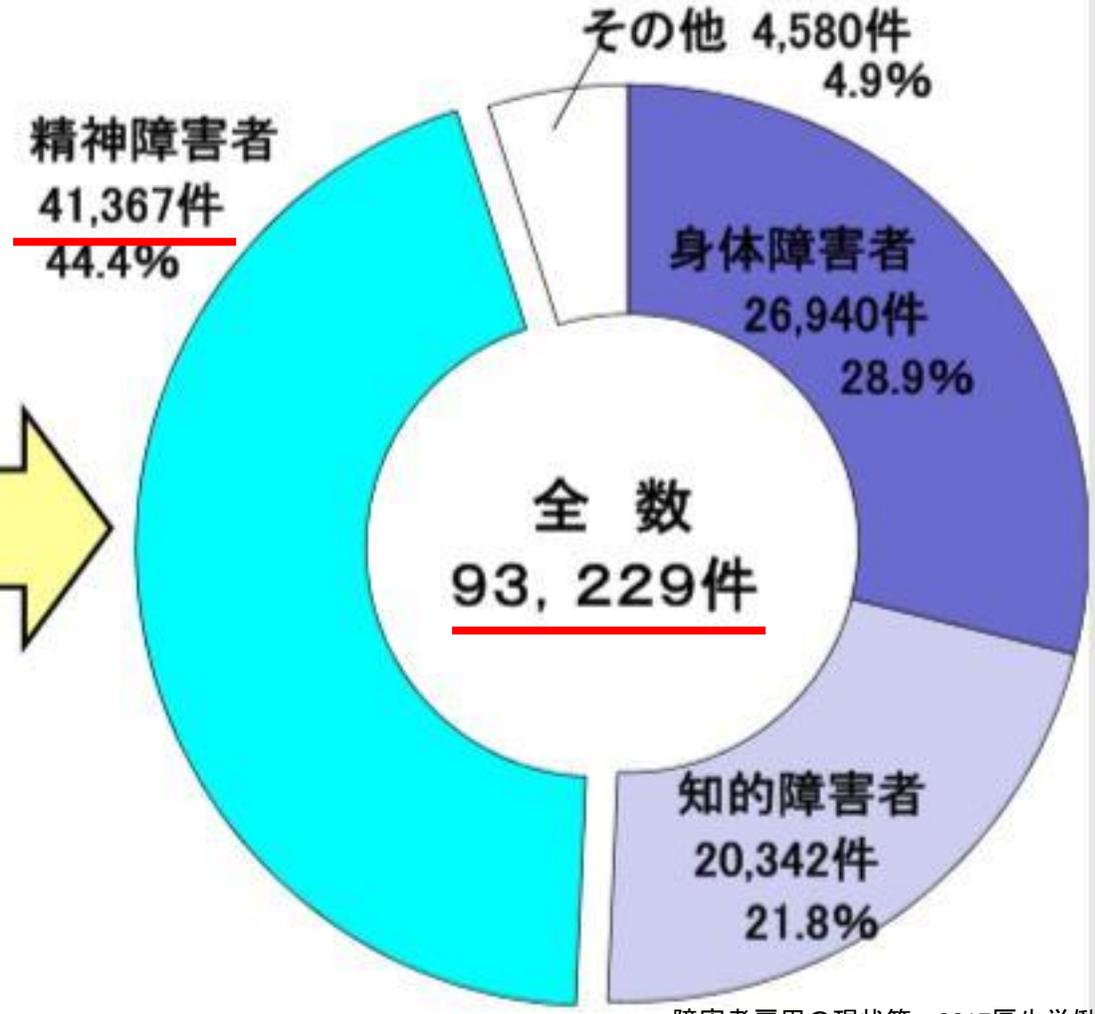


ハローワークにおける障害者の就職状況

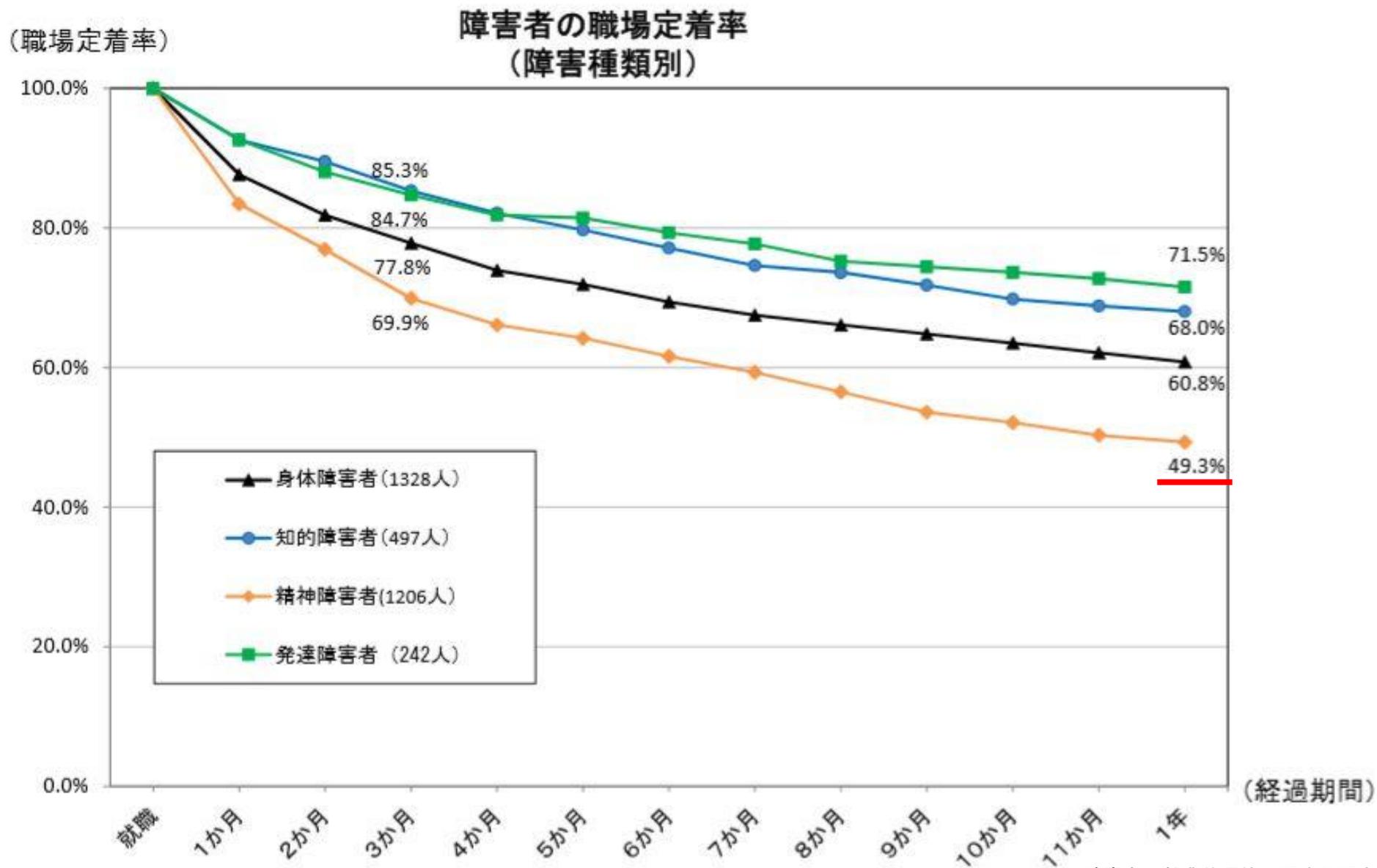
平成18年度



平成28年度



障害者の職場定着率



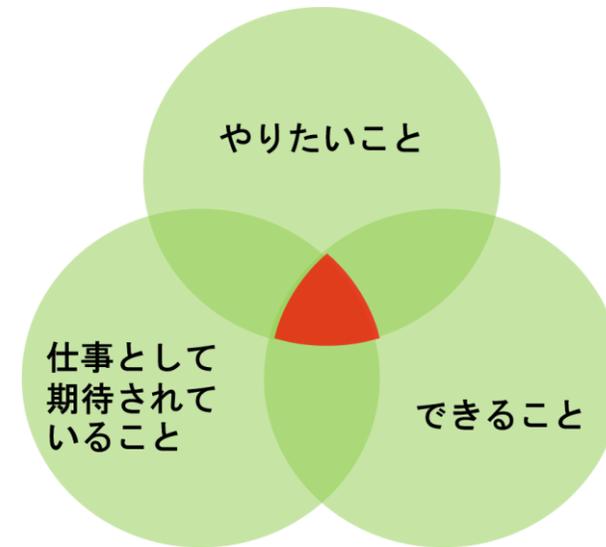
職場定着に必要なのは

• 職業準備性



障害の有無に関わらず、人が就業する上で必要とされること

• マッチング



自分の『やりたいこと』、『できること』と『仕事として期待されていること』が重なる。



就労パスポートが生まれた背景

「精神障害者等の就労パスポート作成に関する検討会」開催の趣旨・目的より

「多様な障害特性に応じた職場定着支援の推進」のために



- 障害者本人の障害理解
- 支援機関同士での情報連携
- 事業主による採用選考時の本人理解
- 就職後の職場環境整備



- 就労に向けた情報共有フォーマット（**就労パスポート**）を整備
- **精神障害者等の就労パスポート作成に関する検討会**



精神障害者等の就労パスポート作成に関する検討会

- 開催

平成30(2018)年12月25日～ 令和元(2019)年9月25日

- 検討、実施内容

- 就労パスポートの記載項目の検討
- 活用ガイドラインの作成
- 就労パスポートの試行
- 試行結果を踏まえた様式の改訂



精神障害者等の就労パスポート作成に関する検討会

• 検討会メンバー

朝日 雅也	埼玉県立大学保健医療福祉学部教授
宇佐見宏昌	松戸公共職業安定所専門援助部門統括職業指導官
小幡 恭弘	全国精神保健福祉会連合会事務局長
柿島 慶子	日本労働組合総連合会雇用対策局部員
倉知 延章	九州産業大学人間科学部教授
栗原 敏郎	株式会社大協製作所代表取締役会長
佐保 昌一	全日本自治団体労働組合総合政治政策局社会福祉局長
眞保 智子	法政大学現代福祉学部教授
清家 政江	障害者就業・生活支援センター ワーキング・トライセンター長
高橋 陽子	ダンウェイ株式会社代表取締役社長
中川 正俊	田園調布学園大学人間福祉学部教授
成澤岐代子	株式会社良品計画総務人事担当
吉岡 治	東京障害者職業センター多摩支所長



情報共有のための既存ツール

名称	概要
ナビゲーションブック	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者自身の特徴やセールスポイント、障害特性、職業上の課題、事業所に配慮してほしいこと等をまとめて、事業主や支援機関に説明する際に活用するツール。 ○ 支援者によるアセスメント等を通じて、障害者本人が主体的に作成する。 ○ 発達障害者向けのツールとしてJ E E Dが開発したものだが、発達障害者以外も利用できる。
地域就労支援における情報の取得と活用のガイドブック	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域関係機関の就労支援、地域連携、情報共有を一体的に支えるための情報支援ツールとして、J E E Dが開発。 ○ 共通様式として様式1から様式6まであり、様式2では、本人、家族、職場、地域の支援機関等がもつ必要のある共通認識を整理できる。
就労移行支援のためのチェックリスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就労移行支援事業者が対象者について支援すべき事項を明らかにするためのツールとして、J E E Dが作成。 ○ 「必須チェック項目」（個別支援計画を策定するに当たって重視すべき項目）と、「参考チェック項目」（就労移行支援をよりよく進めるために参考となる項目）があり、個別支援計画を作成し、就労支援サービスを進めていく中で、対象者が就労に移行するための現状を把握することができる。
幕張ストレス・疲労アセスメントシート（MSFAS）第3版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就労支援の場において、ストレス・疲労を把握し、対処方法を検討するツールとして、J E E Dが開発。 ○ カテゴリーごとにシートが構成されており、主な障害のパターンに応じて、各シートを柔軟に組み合わせて活用する。 ○ 職業相談にあたり、①基本情報を収集し、②自己理解を促進し、③具体的な対処方法を検討するために、各場面で活用できる。
職業相談補助シート	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハローワークを訪れる求職障害者に対する円滑な職業相談とあっせん計画（支援計画）の策定に資することを目的として、J E E Dが開発。 ○ 求職者の属性情報や就業条件の希望等に加えて、自己理解の状況や通院・服薬の安定度、支援体制の状況、生活・労働習慣等の状況を記入・整理できる。



就労パスポートの特徴（趣旨・目的）

- 就労に向けた情報共有フォーマット
- 精神障害者等本人の自らの障害への理解を進める
- 支援者同士での情報連携等を進める
- 事業主による採用選考時の本人理解や就職後の職場環境整備を促す



就労パスポートの特徴（作成・管理方法）

- 精神障害者等本人が自らの希望に基づき、支援機関からの支援を受けながら作成
- 必要に応じて支援機関による内容の確認を受ける
- 本人が管理し、本人の希望に基づいて提示する



就労パスポートの特徴（活用方法）

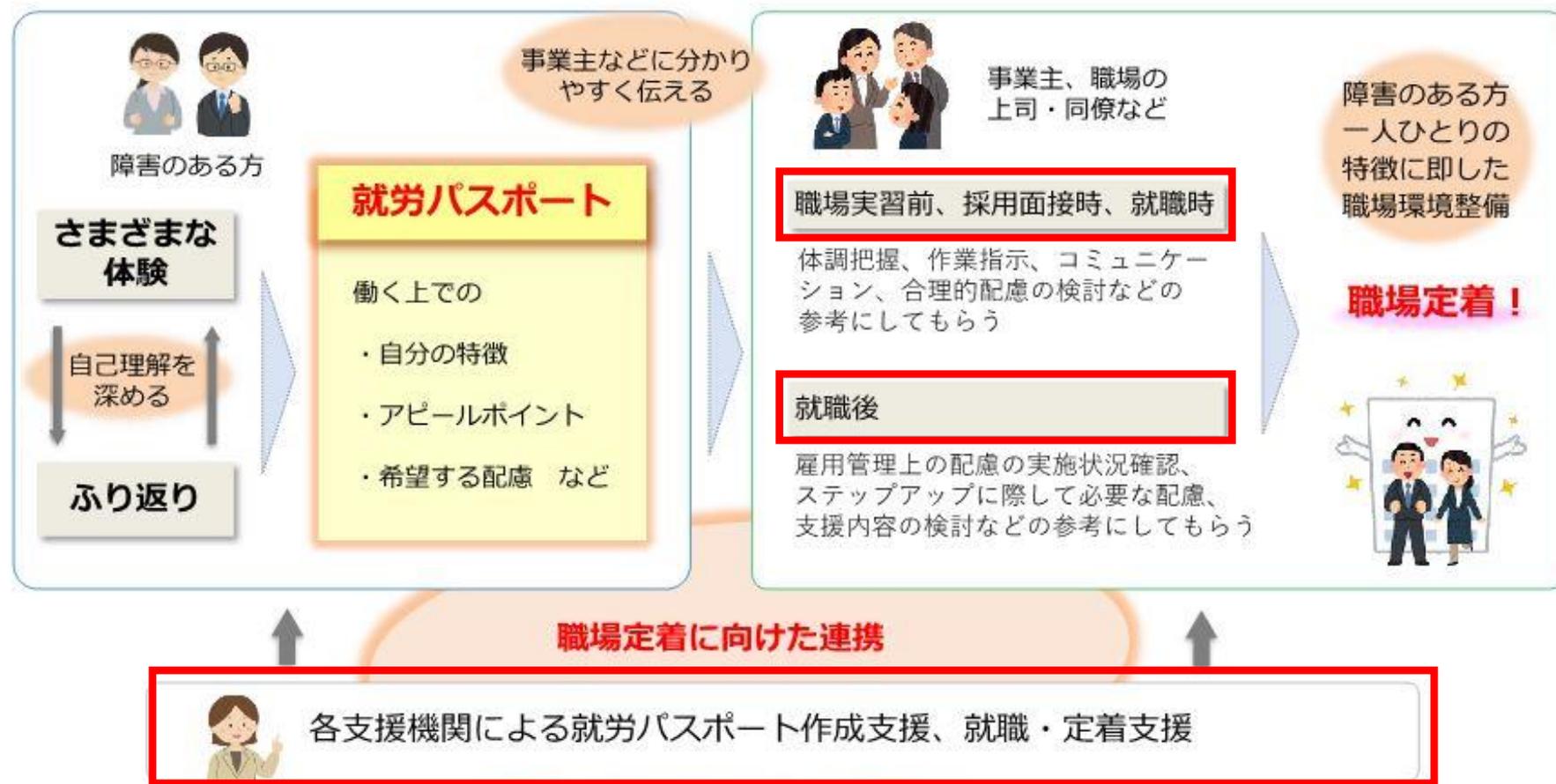
- 雇い入れ時に本人の職業上の特徴や配慮が必要な事項を伝える
- 複数の支援機関を利用する際に本人の特徴を伝える
- 就職後の状況の確認に活用し、職場定着に向けて必要な支援を把握する



就労パスポートについて

障害のある方が、働く上での自分の特徴やアピールポイント、希望する配慮などを就労支援機関と一緒に整理し、就職や職場定着に向け、職場や支援機関と必要な支援について話し合う際に活用できる情報共有ツール

※ 就労パスポートの作成・活用・管理、共有の範囲などは、障害のある方ご本人の意向によります。



[ワーク]

- ①このプログラムで就労パスポートが生まれた背景を聞いてどんな感想をもちましたか？
- ②あなたがオープン就労すると仮定した場合、働く上で、以下のそれぞれの項目について、どんなことを就労先に伝えたいですか？具体的に考えてみてください。
 - (1) 自分の特徴
 - (2) アピールポイント
 - (3) 希望する配慮

上記課題の実施結果についてメールで報告してください。報告の形式は、メールに直接打ち込んで構いませんし、Word等を添付でも結構です。

プログラムはここで終了です。お疲れ様でした。





おつかれさまでした

